

きゅうしよくだより

令和4年1月12日
横浜市立神奈川小学校
校長 田名部和美
栄養教諭 大坪彩理奈

新年の登校は積雪の中から始まりました。厳しい寒さも続いています。1月は正月や給食週間があることから、一年に1回のみメニューが多く登場するので楽しみにしてほしいと思います。

お知らせ

○ 1月の給食について

- 日本の伝統的な食文化を伝えるために、正月料理を取り入れました。**白玉ぞう煮 なます**
- 給食週間にちなんだ献立を取り入れました。

給食の歴史を伝える献立 : **ごはん・梅干し・焼きのり**

横浜に関わりの深い献立 : **すき焼き風煮**

給食にかかわる人に感謝の気持ちをもてる献立 : **とんカツ**

- 冬においしい旬の食品を取り入れました。

ぶり、たら、ほうれんそう、こまつな、ごぼう、はくさい、だいこん、みずな、しゅんぎく、みかん、ぼんかん



給食のとんカツは手作りです。神奈川小の場合、約400枚の豚肉の切り身に塩・コショウをふって下味をつけ、小麦粉・卵・パン粉を一枚ずつ付けて、油で揚げていきます。家庭で作る時と同じでとても手間がかかりますが、年一回のお楽しみとして、給食週間のある1月に登場します。

食に関する指導のねらい

感謝の気持ちをもって… 自然の恵みと勤労の大切さを知り、感謝の気持ちをもって、食事ができる。

日本の伝統的な食事… 昔から伝わる行事食について知る。

給食のあゆみ

学校給食は、明治22（1889）年に山形県鶴岡市の私立小学校でお弁当を持ってこられない子どものために、学校でおにぎりや焼き魚、漬物を用意したことに始まります。現在では子どもたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化しています。こうした中、学校給食は子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣をつけるために重要な役割を果たしています。



給食週間について

戦争により中断していた学校給食が、子どもたちの成長を考え、アメリカなどからの援助物資をうけて、東京・神奈川・千葉で試験的に再開されました。昭和21年12月24日に東京都内の小学校で物資の贈呈式が行われ、この日を記念し「学校給食感謝の日」が定められました。冬休みをはさんだひと月後の1月24日からの一週間を「全国学校給食週間」とし、給食の意義や役割についての理解や関心を深める週間として給食に関する行事が行われるようになりました。



神奈川小の給食週間の取組

神奈川小では1月24日から28日を給食週間として、給食委員会が中心となって給食に関する取組をします。給食に対して関心を高められるような活動にしたいと思います。

完食チャレンジ

毎月行っている完食チャレンジですが、給食週間中は自分にとって必要な量を意識しながらの完食を目指します。そのため、各学年の一人分のサンプル量を掲示し、苦手なおかずを極端に減らしすぎてはいないかを確認するようにします。



給食クイズ、ポスター

給食委員が給食や食に関係するポスターを掲示したり、クイズを出題したりします。

親子料理教室 参加者募集

～魚料理に挑戦 さばの三枚おろし・いわしの手開きに挑戦！～



【日時】 2022年2月26日(土) 10時～12時30分

【会場】 横浜市社会福祉協議会ウィリング横浜(上大岡) 10階調理実習室

【募集対象】 市内在住・在学の小学3年生から6年生の児童

及びその保護者(児童1名につき1名)

【募集定員】 12組 24人 (応募者多数の場合は抽選)

【実習内容】 お魚の話と調理実習(さばの三枚おろし・いわしの手開き)

当日の喫食はありません すべて持ち帰りとなります

【実施予定献立】 中華風煮魚(さば) いわしハンバーグ パックごはん 麦茶
(煮魚とハンバーグを実習)

【参加費】 親子一組1500円(食材費と保険料) 当日徴収

【申し込み方法】 往復はがきに「親子調理教室希望」と明記し、必要事項を記入の上、よこはま学校食育財団へ郵送 応募期間1/6～1/28当日必着

※ 持ち物・申し込み先・注意事項等、詳しくはよこはま学校食育財団のWebページをご覧ください。 <https://www.ygs.or.jp>